



双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 令和7年10月22日号

学校教育目標「自ら学び、未来を創造できる生徒の育成」～楽しくなければ学校ではない～

暑さ寒さも彼岸まで、と昔の方はよく言ったものです。しかし今年は秋分を過ぎた頃には確かに朝夕は涼しくはなりましたが、日中は真夏のような暑さが続きました。先日の合唱コンクールや文化祭も、例年であればクラス全員が上着を着て統一、というのもありましたが、今年はまだそんな気温ではなかったですね。大きな学校行事も終わり、あとは年末に向けて、今年を締めくくる季節になっていきます。受験生は年末より年明けからが気になるところです。合唱コンクール前には、2年生ではコロナによる学級閉鎖もありました。全国的にはインフルエンザの流行がいつもよりかなり早く始まっているようです。予防接種もそうですが、日々の手洗いうがいなど、基本的な所をしっかりやりましょう。



▶ 合唱コンクール

10月9日、各クラスがどれだけ団結して、ハーモニーを奏でることができるか。「欠けることのない一体感は、達成感」をスローガンに、頑張ることができましたか？本番までに色々なことがあったと想像できます。どの学年も甲乙つけがたい仕上がりでした。歌い始めたときからどれだけ上達したのでしょうか。その上達幅は、実際に歌っているみんなしかわからないことです。それぞれに金銀銅を表彰しましたが、審査しているものとして、本当に今年の合唱は、評価することが難しかったです。それほど差を感じることができたのが、正直なところです。さらに有志合唱団に全員合唱。双ヶ丘ならではのことです。全員合唱では、保護者の皆様も歌っていただき、本当に一体感と達成感を感じられた瞬間になりました。みなさんの素敵なお声、ありがとうございました。



▶ 文化祭



合唱コンクールに続き、10月10日には文化祭が開催されました。テーマは「命・輝き・繋ぐ」。吹奏楽部や和太鼓部、創作部、7組の発表があり、日頃の練習の成果を発揮していました。また、各学年からは総合の学習で学んだことを劇風にして発表。取り組んでいる内容がよくわかりました。有志発表ではプロ級のドラム演奏から始まり、踊りや歌など、みんなのいつもとは違う一面を見ることが出来ました。実行委員のみなさんも、準備から片づけまで、みんなが楽しめるように頑張ってくれました。ありがとうございました。

▶ 避難訓練

本校では、全市の中では珍しく、毎年抜打ちの避難訓練を行っています。今回に関しては、事前に実施日と時間を公表しましたが、避難場所をいつもとは変更して行いました。ほとんどの生徒は、地震速報の後、自分の身を守る行動ができ、放送をしっかりと聞くことができ、静かに速やかに行動することができました。講評でも言いましたが、臨機応変に行動ができるか。自分勝手ではなく、周りの状況を見ながら判断する力が必要です。ふざけるような生徒は全くいなかったため、避難訓練の意図をしっかりと理解しての行動だったと感心しました。素晴らしいですね。

▶ 保護者のみなさまへ

合唱コンクール、文化祭に来校していただいた保護者のみなさま、お忙しいところありがとうございました。普段の授業や、さらにはご家庭でも見せないような姿や表情を見ることができたのではないかでしょうか。また、お仕事等の都合で来られなかつた方々は、お子たちの話や学級通信等を通じて、当日の様子を感じ取っていただければと思います。我々の学校行事での楽しみのひとつは、普段では見られない生徒の姿を見ることです。どのお子たちも秘めたる才能を持っています。それを引き出してあげる場面や機会を作つてあげるのが大人の役割であると思います。親としては、社会人になるまでは勉強のことばかり気になりますが、いざ社会人になってみると、意外な才能を発揮することもあります。先日、日本人2人がノーベル賞を獲得しました。その中で「無用の用」という言葉が取り上げられていました。今は高校進学等で悩むことが多いですが、長い人生の中では無駄な時間と思えるようなときも、実は将来に大きな影響を与えることもあるかもしれません。勉強の日々ですが、少しの息抜きがあつても良いと思います。その時間が大きな意味を持つこともあるかもしれませんね。コロナやインフルエンザが流行っております。皆様もどうぞ自愛ください。

▶ お知らせ(全国学力・学習状況調査結果考察について)

今年の3年生(および6年生)を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果から分析したものをホームページに公開しております。国語は全国平均より上回っており、数学や理科に関しては全国平均並みという結果です。生徒質問紙からは成果や課題も見え、今後の教育活動に活かしていくたいと思います。どうぞご覧ください。